

(現場・品質管理者用)

AP 工法品質マニュアル

提出日 平成 21年 月

AP 工法協会		
工事管理者	施工管理者	品質管理者

1. 使用材料・使用機械

1-1. 材料説明

(1) 使用材料

アフタープロテクション;プレミックス材料+水 配合例を表-2に示す。

表-1 プレミックスモルタル材料表

材 料 名	名 称	荷 姿	密度(g/cm ³)	外 観
セメント材	アフタープロテクション	25kg/袋	2.15 以上	灰色粉体
水	水道水	水 道	1.0	透明
吸水調整剤	ユニレックス3	18kg/缶	1.06	乳白色液体

(2) 材料内容

水 : 水道水

セメント : 普通ポルトランドセメント(JIS R 5210 の品質適合品)

骨材 : 粒度による区分 5~0.3 mm

混和材 : 減水剤

耐アルカリ繊維(ビニロン系)

(3) 配合(ユニレックス3)

1-吸水調整剤の配合

希釈倍率:ユニレックス3:水=1:3~5(塗布工法)

塗布量 : 希釈液の塗布量 120g~250g/m²

表-2 プレミックスモルタル配合例(kg)

配合例	プレミックス材	水
1m ³	2000.0	288.0
1 バッチ(3 袋)	75.0	10.8
1 バッチ(4 袋)	100.0	14.4
1 バッチ(5 袋)	125.0	18.0
1 バッチ(6 袋)	150.0	21.6

ただし、フロー値確保のため水量調整は1バッチ当たり±0.2kgとする。

1-2. 品質管理

品質管理

(1) 管理項目および基準値

アフタープロテクションの品質管理試験の項目および管理基準値を表-4 に示す。

表-4 品質管理試験項目および管理基準

項目	測定器具	管理基準値	頻度
外気温測定	デジタル棒温度計	5℃～35℃	作業開始時に1回 および作業中間に 1回
水温度測定	デジタル棒温度計	—	
練り上がり温度測定	デジタル棒温度計	5℃～35℃	
フロー値	フローテーブル	180mm±15mm	圧縮供試体採取ごと
圧縮強度供試体採取	サミット缶(50*100)	3本	3本/日 部位単位

・フロー値管理

フレッシュモルタルの管理は、吹付け施工開始前のモルタル混練後、ホッパー内で十分な攪拌を確認した後、試料を採取しフロー値試験を行う。このフロー値試験をもって出来上がりモルタルの品質管理とする。また、吹付け装置にトラブルが生じた場合や気温の変化が激しくモルタルのフレッシュ性状に変化がみられる場合、適時フロー値試験を実施し出来上がりモルタルの品質を確認する。

・フロー管理値を外れた場合の処置

混練下モルタルを破棄し、新規に混練して再度試験を行う。

表-5 事後の確認として圧縮強度と付着強度試験については、下記の通りとする。

項目	測定日	管理基準値	備考
圧縮強度試験	28日強度	34N/mm ²	3本平均

本施工時には、7日強度は実施しないものとする。

(2) 養生方法

圧縮強度供試体は、現場養生(気中)及び標準養生にて行う。

(3) 試験体作成方法

試験体の作製は、実構造物へ施工されたものと同条件となるように、ガン先より吹付けられた材料をバケツ等で採り、その材料を試験ピースに入れて作製する。

(4) 試験実施機関

圧縮試験等は第三者試験機関とする。(元請側でお願い致します。)

2. 施工記録・写真

※1壁に対して12枚の施工記録写真を取る。
黒板に記載する。

- ① AP モルタル搬入状況（現場名、施工場所、日時、商品名、数量）
- ② プラント状況（ポンプ、ミキサー、コンプレッサー名記載、配置状況）
- ③ 配管、ホース状況（床養生、接続部分の養生確認）
- ④ モルタル、フロー試験状況（フロー値 $180 \pm 15\text{mm}$ 、気温、水温、値上がり温度）
- ⑤ プライマー塗布、水湿し状況（噴霧状態）
- ⑥ 1次吹付け 状況
- ⑦ ワイヤーマッシュ取付状況
- ⑧ モルタル、フロー試験状況
- ⑨ テストピース採取状況
- ⑩ 仕上げ吹付け状況
- ⑪ 左官作業状況
- ⑫ 養生(ビニール)状況

(参考写真)



モルタル搬入状況

トラック前後に
コーンで区画する



プラント配置・施工状況

屋内プラントは
集塵機を使用する。



作業区画
コーン・ポール

配管状況



気温・水温
練上り温度
フロー値

工事名	宮崎県立総合文化センター
撮影日	〇日
撮影時間	
気温	33°C
水温	27°C
練上り温度	34°C
フロー値	168.169
施工員	

フロー試験状況(1日 2回計測)



吹付け試験状況



保護具
マスク・メガネ
着用させる。

モルタル充填
状況の目視確認
1回

吹付け試験 H2000. H1000



保護具
マスク・メガネ
着用させる。

プライマー塗布状況



保護具
マスク・メガネ
着用させる。

保護ゴム手袋
を着用させる。
壁面に対して 90 度

1次吹付け状況



3本/1日
で採取する。
現場名
施工箇所
日時記入
2F - 001 番号

テストピース採取



仕上げ吹き後、定規スリ



立ち馬作業時は
後方補助者を
置くようにする。

仕上げ吹付け状況



木ゴテ・金ゴテ
刷毛引き等
黒板に記入。
仕上げ状況

左官仕上げ、木ゴテ、



施工完了

極力、全体の壁が
写るように撮影する。



表面ビニール養生

表面が硬化した後、
ビニール養生する。

品質管理報告書(完了時提出書類)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 施工写真 | ……AP 工法協会員 品質管理者 作成 |
| 2. 施工チェックリスト(日常) | ……AP 工法協会員 品質管理者 作成 |
| 3. フロー値及び温度管理表 | ……AP 工法協会員 品質管理者 作成 |
| 4. 出荷証明書 | ……(株)クラレ 作成 |
| 5. 品質証明書・試験成績書 | ……(株)クラレ 作成 |
| 6. モルタルの圧縮強度試験報告書 | ……第三者試験機関 作成 |
- 採取テストピースより(一か月以上の工事は随時提出。)